

Association for Research on the Impacts of War and Military Bases on Women's Human Rights

「女性・戦争・人権」学会

ニューズレター

大会案内号

2019年9月24日

《2019年度年次大会のお知らせ》

日時：2019年10月27日(日) 10:00～

会場：同志社大学烏丸キャンパス 志高館1階SK118教室 (地下鉄「今出川駅」1番出口より北に徒歩5分)
(参加費 会員：無料、一般：¥1,000、学生/正規労働者以外：¥500)

○スケジュール

10:00～11:00 自由論題

「戦時性暴力を裁く——国際刑事裁判所における裁判動向」

報告者 前田朗さん (東京造形大学)

討論者 秋林こずえさん (同志社大学)

11:30～12:30 総会

12:30～13:30 ランチ休憩

13:30～17:30 シンポジウム

「学問の自由と政治——フェミニズム・バッシングの歴史と現在」

パネリスト 能川元一さん (神戸学院大学)

牟田和恵さん (大阪大学)

矢野久美子さん (フェリス女学院大学)

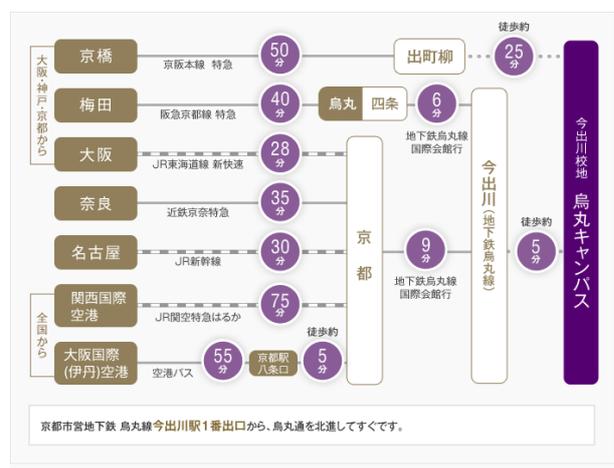
討論者 倉橋耕平さん (立命館大学)

18:00～20:00 懇親会 未定

(懇親会費 会員/一般：¥5,000-、学生/正規労働者以外 ¥2,000-)

同志社大学フェミニスト・ジェンダー・セクシュアリティ研究(FGSS)センター共催

《会場案内》



<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/karasuma.html>

学問の自由と政治
——フェミニズム・バッシングの歴史と現在

パネリスト 能川元一さん（神戸学院大学）
牟田和恵さん（大阪大学）
矢野久美子さん（フェリス女学院大学）
討論者 倉橋耕平さん（立命館大学）

本学会で創設当初より取り組んできた日本軍「慰安婦」問題は、いまだ日本政府による解決に至っていません。それどころか、近年の外務省の国際社会にむけての、「強制連行を直接示すような記述は見当たらない」、「性奴隷という表現は、事実に反するので使用すべきでない」といった発信に見られるように、むしろ、「個人の請求権の問題も含めて、法的には解決済み」という態度をより硬化させ、本問題に対しては、現在の国際法のレベルに即した対応を頑なに拒絶しています。[「慰安婦問題「外交青書 2019」より <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000472256.pdf>]

また、今年に入り、「慰安婦」問題を含む、性暴力をめぐる問題やフェミニズム研究をテーマにした科学研究費への自民党議員からの不当な介入に対する提訴、「慰安婦」をめぐる日本社会における論争をテーマにしたドキュメンタリー映画『主戦場』に対する、右派陣営からの提訴など、二件の名誉毀損裁判が始まりました。

本シンポジウムでは、これまでも様々に誹謗中傷を繰り返され、日本の歴史修正主義者たちが最大の攻撃対象としてきた、日本軍「慰安婦」問題の解決を求める運動と研究を振り返りながら、より広く、フェミニズム研究に対するバッシング、さらには、学問の自由と政治状況のあり方を考えます。報告者として、本学会員の能川元一さんと矢野久美子さんに加えて、上述の「慰安婦」問題をめぐる裁判の一つである、「フェミ科研裁判」の原告の一人である牟田和恵さんもお招きし、現在「慰安婦」問題をめぐって何が争われ、わたしたちは何に対して闘っていかなければならないのかといった具体的な問題と共に、より広く学問の自由や思想の自由とはなにかを考える機会となることを願っています。

みなさまのご来場を

お待ちしております！

「女性・戦争・人権」学会事務局

〒602-0898

京都市上京区烏丸通上立売上る相国寺門前町 647-20

同志社大学大学院 グローバルスタディーズ研究科内 岡野八代研究室

Fax : 075-251-3091 Email : josejinkensensou@gmail.com

Website : <https://www.war-women-rights.com>

郵便振込口座 : 00900-6-38551 「女性・戦争・人権」学会